

by ジャーナリスト楽校
in こだいら市民目線で
調べてきました!地元
再発見!

第11回 テーマ：東京都薬用植物園

リニューアルしてより身近に!
見所豊富な「緑の癒やしスポット」

タラヨウ 別名は葉書の木

「草星舎」などもあり、見学者への配慮も十分にされています。シヨップでは、地元ベカリのパンやハーブ、山野草などの花苗を購入することもできます。



花咲案内人の小俣さん

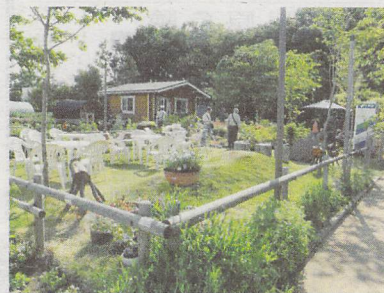


生薬の説明をする小俣さん

ここを訪れたらぜひ利用してほしいのが無料の園内ガイドです。約30人のボランティアが植物の説明をしながら園内をガイドしてくれます。

「東大和市」駅前にある「東京都薬用植物園」は、薬用植物を収集・栽培している研究機関です。1946年の発足以来、都内で唯一「ケシ」を栽培するなど、薬用植物の見本の保持などに努めています。そんなお堅いイメージの同園ですが、意外や意外、最近とみに来場者数を増やしている「隠れ人気スポット」になっているとか。そのナゾに迫ってきました!

「東大和市」駅前にある同園には、漢方薬原料、民間薬原料、有毒植物、製薬原料などに分類された栽培区があり、世界中の薬用植物、有毒植物、有用植物などの珍しい植物を見学できます。絶滅危惧種の保存にも力を注いでいます。



「草星舎」の建物と休憩スペース

「草星舎」の建物と休憩スペース。同園はいつしか「緑の癒やしスポット」として植物愛好家の間で知られた存在となっていました。特に4〜6月の来場者が多いので、現在では年間約12万人を受け入れるまでになっています。

お得な情報満載

薬草教室なども開催

現在、園の事業管理は「公益社団法人東京生薬協会」に委託し運営されていますが、園には都の

園内ガイドはおまかせ

「花咲案内人」

料の園内ガイド「花咲案内人」。



ハーブとしておなじみのカミツレ（カモミール）

を随時開催しています。直近では、22日（土）午前10時から「やさしい薬膳 酷暑の前に」。参加費300円。要申し込み。詳しくは、ふれあいガーデン草星舎（☎080・5903・0828）へ。26日（水）には、午前10時から「水辺の薬草と毒草」が開かれます。参加無料。詳しくは東京都薬用植物園（☎042・341・0034）へ。

【東京都薬用植物園】

入場無料

☎ 042・341・0344

開園：午前9時～午後4時30分（4～9月）

※10月～翌3月は午後4時まで

月曜休園（4、5月は無休）

住所：小平市中島町21の1